

公表

事業所における自己評価結果

事業所名							公表日	令和7年 3月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3		3			
	2	職員の配置数は適切であるか	4		2		個別の療育活動で難しいことが多い。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	1		設備老朽化に対応し、速やかな修繕を心掛ける	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2		4		職員の目標設定や達成意欲を高めるための工夫が必要。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6					
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6					
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		1	積極的に実習生やボランティア、見学者の受け入れをしている。		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6					
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6					
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6					
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6					
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6					
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6					
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		2	行事前には必ず「流れ」「役割分担」「緊急時の想定」を確認し実施している。日常業務における役割分担は必要に応じて話し合う程度。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		3	営業時間終了と終業時間が同じであり、支援の振り返り等は翌日の13時に常勤、非常勤職員の集合に合わせて行っている。	土曜や長期休み中は全職員が集まるのが難しいので、引継ぎに時間差ができてしまうことがある。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6					
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5		1	ガイドラインの読み合わせや支援プログラムの周知はしているが、それが個別支援にどう紐づくかの検証を全職員ではしていない。	個別支援会議や定例のケース検討会議にて、改めて支援プログラムの周知を図る。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6					

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4		2	7年以上医療的ケアが必要な児童の受入れは無い。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		2	専門機関主催研修の受講は限られたもののみとなっており、職員全てが参加できていない。	積極的な研修の参加に加えて、参加職員から全職員への伝達機会を作る。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	地域の公園や社会見学などの屋外活動を積極的に企画しているものの、交流とは言えない状況。	社会参加を中心に、地域住民や障がいの無い子どもと交流する機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5		1	協議会の参加、参画はしているが、一部の職員にとどまっている。参加人員を確保できない事が大きな要因。	参加できない職員への伝達を徹底していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		3	保護者に対する技術的な支援の要望は無く、またそれに対応できる職員もいない。	保護者の対応力に不安がある相談に対して、まず職員が必要なスキル向上を目指す。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				
保護者への説明等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	35	個人情報に十分注意しているか	6				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6				
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6				
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		1	定例会議での周知の他、報告書の写しを回覧している。事例は事故報告書、改善報告書をファイルし職員はいつでも閲覧できるようにしている。	事故報告の周知と検証を全職員で行い、再発防止を徹底する。